

| | | | | | | | |
|--|--|-----|------|---------|-------------------|------------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 社会学(AD111) | | | 担当教員 | 大島 啓 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 1 年・後期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| 本講義の目的は、社会的存在として人間を理解する視点を身につけることである。具体的には、人間を社会的な環境（経済的・政治的・文化的環境および社会関係の総体）から捉える視点を獲得することである。社会構造と変動、市民社会と公共性、生活と人生、自己と他者などのテーマをもとに、人間と社会の関係性やその相互作用について学び、社会理解の基礎的な視角を身につけることを目指す。 | | | | | | | ② |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 社会学的な「人間の捉え方」、「社会現象の見方」を習得することにより、自身の身近にある事柄を社会と関連づけて考えることができる。 | | | | ・授業内レポート ・定期試験 | 20% 10% | |
| 情報収集、分析力 | 社会構造と変動、市民社会と公共性、生活と人生、自己と他者などの観点から、現代日本社会の趨勢や諸特徴をその原因と共に説明することができる。 | | | | ・授業内レポート ・定期試験 | 10% 60% | |
| コミュニケーション力 | | | | | | | |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | |
| 多様性理解力 | | | | | | | |
| 出 席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合 計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>「定期試験」では筆記試験を実施する（評価比率70%）。穴埋め問題を出す。定期試験では、現代日本社会の趨勢および社会学の基礎的な概念や理論についての理解を問う（持ち込み不可）。</p> <p>また、随時、講義内容の理解度を問う授業内レポートにおいては、現代社会の課題に対応できる思考力を確認し、良い回答や質問があれば評価の対象とし（評価比率30%）、授業内にコメントする形でフィードバックを行う。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>板書とグループワークを伴う講義形式で授業を進め、社会構造と変動、市民社会と公共性、生活と人生、自己と他者などに関する理論・概念・データ・映像資料を、テーマごとに提示することにより講義を展開する。</p> <p>社会福祉学科に所属する学生以外も履修可能である。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：指定はしない。適宜資料を配布する。</p> <p>参考書：A. ギデンズ（松尾精文ほか訳）『社会学 第5版』而立書房（2009）。</p> <p>指定図書：社会福祉士養成講座編集委員会編『社会理論と社会システム 第3版』中央法規（2015）</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| こまめに新聞やニュースに目を通して世の中の出来事を知り、それらを本講義で学んだ視点から考えてみてください。 | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|-------------------------|--|---|
| 1 | 社会学の視点 | 社会学の歴史と対象という視点から、社会学の発展と対象を説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 2 | 社会構造と変動 ①社会システム | 社会システム概念をもとに、文化や規範、社会意識や社会階級と社会階層、社会指標について解説する。 | 復習：配布資料を再読し、学んだ事柄を現実の社会現象に適用する。 |
| 3 | 社会構造と変動 ②組織と集団 | 社会集団概念を概説し、第一次集団と第二次集団、官僚制やNPOについて説明する。 | 予習：社会集団の機能について考察する。 復習：配布資料の再読。 |
| 4 | 社会構造と変動 ③人口 | 人口概念を概説し、人口構造や人口動態、人口減少や少子高齢化について説明する。 | 予習：少子高齢化について調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 5 | 社会構造と変動 ④グローバル化 | 国境を超える移動（人・モノ・資本・情報等）を概説し、エスニシティや多文化共生について説明する。 | 予習：多文化共生が求められる背景について調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 6 | 社会構造と変動 ⑤地域 | 地域やコミュニティ概念を概説し、ソーシャルキャピタルや都市化と過疎化について説明する。 | 予習：ソーシャルキャピタルについて調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 7 | 社会構造と変動 ⑥環境 | 社会学における環境概念を概説し、気候変動や環境破壊、持続可能性について説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 8 | 市民社会と公共性 ①社会的格差と社会政策 | 社会的格差と社会政策の関係を概説し、所得や教育、健康の格差と社会運動、福祉国家について説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 9 | 市民社会と公共性 ②差別と偏見 | ラベリング理論や逸脱概念を概説し、マイノリティや社会的排除について説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 10 | 市民社会と公共性 ③災害と復興 | 災害と復興の関係を概説し、避難計画や生活再建、要援護者やボランティアについて説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 11 | 生活と人生 ①家族とジェンダー | 家族概念を概説し、世帯やひとり親、子育てや介護、虐待、DVについて説明する。 | 予習：DVについて。 復習：配布資料の再読。 |
| 12 | 生活と人生 ②労働 | 労働の今日的課題を概説し、ワークライフバランスや正規/非正規雇用、失業や過労死について説明する。 | 予習：ワークライフバランスについて調べる。 |
| 13 | 生活と人生 ③世代 | 世代概念を概説し、ライフステージやライフコース、個人化やいじめ、ハラスメント、社会的孤立について説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 14 | 自己と他者 | 自己と他者、社会化概念を概説し、間主観性や社会的自我、役割取得やアイデンティティ、生涯発達について説明する。 | 予習：役割取得について調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 15 | 相互行為 | 相互行為概念を概説し、シンボリック相互作用論や親密性、SNSや引きこもりについて説明する。 | 予習：引きこもりについて調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 16 | 定期試験 | | |